



月刊 利根日石新聞

2009年11月1日創刊 令和3年8月号
第000143号 発行 利根日石株式会社 TEL0278-24-1635
本社販売管理課 FAX0278-23-7980

夏行予防食材

タンパク質 ビタミン ミネラル、アルコール、豚肉、うなぎ、レバー、魚のすり身で作るかまぼこは、高タンパク、低脂肪が特徴の食材、うなぎは、ビタミンB1を豊富に含み、夏に多い。梅干しは、夏バテ対策、オレンジ、レモン、酢の物もさっぱりしているのでよい。枝豆は、ビタミン、ミネラルたんぱく質、鉄分も含まれていて枝豆に〇-〇です。

8月はお盆さま冥途に帰省してお墓参りやお供えをするという方は多いと思われ、先祖様を一年に一回家にお迎えしてご冥福をお祈り、先祖の霊を供養します。家族や新成人の日の四十九日忌明け後初めて迎えるお盆を新盆とか初盆と言って、普段のお盆よりも盛大に供養を行なう為、友人を呼んで法会を行なう家庭も多いと思われ、絵柄の入っていない白提灯を玄関や仏壇の前に飾り故人が迷わず来られるようにという思いからの事。13日に迎え火を焚いてお迎えして16日の送り火であの世にお送りする。3度の食事、家の入り口と同じ物をお供えする。そうめんやうどん、ご飯にみそ汁など、どうぞ食べて下さいと言ってあげます。お墓に送る行く時、お墓参りも来た下、お墓参りを見守って下さいと言います。私はそのようにしてお盆様を送ります。

ある本から『山あり、谷あり』

今年の山の日、八月八日です。「日本で一番高い山は？」と聞かれたら誰もが「富士山」と答えるでしょう。でも2番目に高い山はわかりますか。答えは、南アルプスにある「北岳」で、標高三千百九十三メートルあります。

山に登るには、上り坂ばかりではありません。平坦な道もあれば、下り坂もあります。しかし、山頂に向かって、一步一步足を進めていく。頂に辿り着くことができるでしょう。

「人生は山あり谷あり」といわれるように、人生には好調な時、そうでない時があります。

仕事でいく上でも、思い通りにいかなかったり、トラブルに見舞われたりすることがあるかもしれません。そのような時には、しっかりと目標を見据えて失敗があれば、その原因を見直し、一步一步着実に歩みを進めていくことが肝要です。

残りの人生(あと何年?)「谷」があっても負けずに生きていこう。そして「日本で一番高い山、富士山」歩けるうちに一度は登ってみたい。登る日は「山の日」を選びたいと思います。



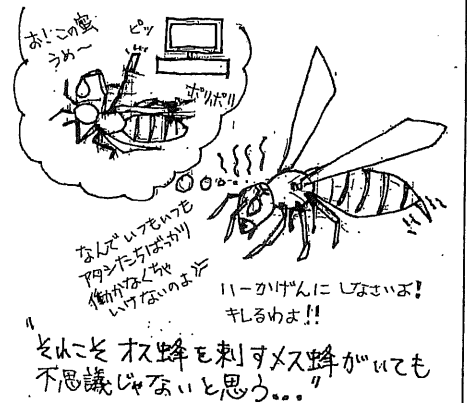
山の日 今年8月8日

(続) スズメバチの恐怖

先日、昔の原稿を見ていたら、7年前の8月号の原稿が長すぎて、紙面の都合上、大幅にカットされていたのを発見! もったいないので改めて掲載させていただきます。

今年もベントリー沼田店にスズメバチ駆除のご依頼が入り始めました。スズメバチを始めとするハチによる被害は、毎年20~30名もの死者を出すほど深刻です。熊や毒蛇による犠牲者も出るかもしれませんが、ハチほどの被害は出ません。そんなスズメバチ、改めて調べてみると、恐ろしく興味深い生態が見えてきます。

皆さんもご存知のとおり、スズメバチは集団で生活します。集団には一匹の女王蜂と、沢山の働き蜂がいます。ところで、働き蜂の殆どがメスということをご存知でしたか? 「じゃあオスは?」という疑問が湧きますが、何匹かいます。ただし、働き蜂とは呼べない代物です。まったく働きません。日中、ぶらぶらと飛んだり、蜜を吸うくらいで、あとは巣でゴロゴロするだけ。言うなれば殺戮して。そんな殺戮しにも関わらず、重要な仕事があります。交尾です。女王蜂が巣立ちする時、彼らの出番です。女王蜂と共に何十匹かのオス蜂が飛び立ち、追いかけてきます。女王蜂の元に無事に辿り着けるのは僅か数匹、他のオス蜂は皆、途中で力尽きてしまいます。しかし、やっと辿り着いた数匹も交尾を終えた途端、あつという間に息絶えてしまいます。こうして唯一残った女王蜂が、たった一匹で巣を作り、そして卵を産みます。



女王蜂は生まれた時から女王ではなく、幼虫時は他の蜂と何ら変わりません。ただ、幼虫時に食べた餌によって女王蜂になるのです。栄養を十分に摂った女王蜂は巣を離れ、オス蜂と交尾した後、冬眠に入ります。春、目覚めた女王蜂は一匹で巣を作り始めます。ある程度、巣が出来、働き蜂が生まれてからは、巣作りや餌集めなどは全て働き蜂が行い、女王蜂は卵を産むことに専念します。やがて次の女王蜂が決まり、女王蜂は役目を終えて息絶え、そして新しい女王蜂を中心に同じサイクルが繰り返されます。ただし、まれに悲劇が起こります。

次期女王蜂として栄養をとっている最中に、働き蜂が不足すると、まれに次期女王蜂が働くことがあります。そうすると、蓄えるべき栄養分が不足して女王蜂になれないことがあります。本来、女王蜂の役目は卵を産むこと、他の働き蜂に卵を産ませない(その為のフェロモンを出す)ことですが、その役目を果たせないことで悲劇は起こります。

女王蜂は交尾をする事で、オスとメスを振り分けて卵を産むことが出来ます。ところが働き蜂は交尾をしないので無精卵のオスしか産めません。つまり、悲劇とは女王蜂がメス蜂を産むことが出来ず、働き蜂が殺戮のオス蜂ばかり、じゃんじゃん産んでしまうことなのです。この場合、働き手が不足するばかりか、純率もとれず、あつという間に巣は崩壊してしまうそうです。殺戮し、恐るべし...

ともあれ、通常、働き蜂は7月頃から羽化を始め、8月から10月にかけてが最も数が増える時期です。この時期は特に気をつけましょう。何匹か同じ場所で見かけたら、近くに巣がある恐れがあります。そんな時はベントリー沼田店にお問合せください。

ベントリー沼田店では、15,000円(税込)にて駆除を承っています。(高所や壁の中などの場合は別途費用がかかります) 沼田市や波川市、みなかみ町の場合は、半額が助成されるので、実質7,500円で駆除できます。手帳や方法などもご案内させていただきます。

スズメバチの駆除、お問い合わせはお気軽に0120-055-308(ベントリー沼田店)まで。